

地域の危険度マップ ―関ヶ原町―

自分の住まいやよく行く場所、通るところは大丈夫かな？
大きな家具や家電製品の位置や就寝場所などにより
家の中で危険なところはないかな？



地域の危険度マップとは

地域の危険度マップは、被害が大きいと予測される「養老-桑名-四日市断層帯地震」および、発生確率が高い「南海トラフ巨大地震」において想定される全壊する建物の割合(全壊率)を50mメッシュで表現したものです。

建物の揺れに対する強度は、木造より非木造の方が高く、建築年次の新しい方が高い傾向があります。建物の全壊率は、建物の強度を考慮するため、メッシュごとに構造(木造・非木造)別、建築年次別の建物棟数を集計したうえ、岐阜県が平成25年2月に公表した地震被害予測において算出した計測震度、液化化指数をもとに、内閣府が2003年に発表した「首都直下地震にかかる被害想定手法について」の計算方法を用いて算出しています。

なお、地域の危険度マップは、赤色で示した地域ほど、危険度が高い地域を示していますが、実際は個々の建物により耐震強度が異なります。過去の大規模な地震(阪神・淡路大震災など)では、耐震基準が改正された昭和56年5月以前の建物に被害が多くみられるため、危険度が低い地域であっても十分な注意が必要です。



指定避難所【地震災害】				家屋に被害が生じ、自宅で生活を続けるのが危険な場合に避難するところ(緊急避難場所を兼ねています)
番号	施設名	所在地	電話番号	対象自治会
①	北部集落センター	玉249-1	43-1047	玉東部・玉中部・玉西部
②	北保育園	玉37-1	43-2612	緑ヶ丘・池寺・御祭田
③	関ヶ原ふれあいセンター	関ヶ原894-29	43-2233	笹尾・小関・小池・天満・陣場野・宝有・グリーンフィールド・秋葉・瑞竜・大高
④	野上転作促進技術研修施設	野上1168-2	43-2809	野上ー野上二
⑤	東保育園	関ヶ原3608-1	43-2688	東町一・東町二・東町北
⑥	関ヶ原小学校(体育館)	関ヶ原3132-3	43-0027	西町一・西町二・中町・公門一ー六・
⑦	関ヶ原小学校附属幼稚園	関ヶ原3132-8	43-1884	新町・東野・中山・六反田
⑧	国保健康福祉総合施設やすらぎ	関ヶ原2490-29	43-3201	
⑨	関ヶ原中学校(体育館)	関ヶ原2490-101	43-0054	山中・藤下・松尾・柴井・稲荷町・若宮
⑩	西保育園	松尾258-1	43-2610	
⑪	今須小中学校(体育館)	今須75-1	43-5011 43-5850	門前・今須中町・今須西町・門間
⑫	今須保育園	今須160	43-5596	竹の尻・新明・貝戸・下明谷
⑬	グリーンウッド関ヶ原	今須2048	43-0033	平井・祖父谷

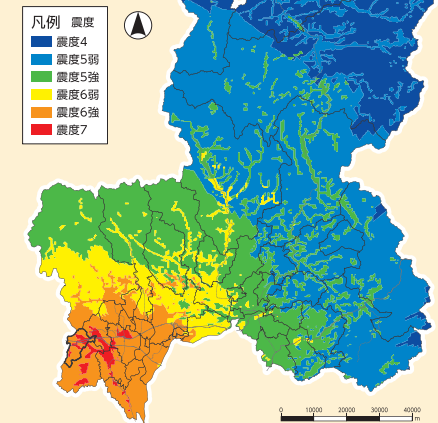
緊急避難場所			災害時の危険を回避するために、一時的に避難するところ
番号	施設名	所在地	
①	エコミュージアム	玉1565-3	
②	小関集落センター	関ヶ原1309-1	
③	瑞竜転作促進研修施設	関ヶ原691-1	
④	大高転作促進研修施設	大高1056-1	
⑤	東町転作促進研修センター	関ヶ原3758	
⑥	藤下転作促進研修施設	藤下317-1	
⑦	山中多目的集会施設	山中981-2	
⑧	門間転作促進研修施設	今須123-2	
⑨	竹之尻転作促進研修施設	今須581-2	
⑩	旧小林分校	今須765	
⑪	貝戸集落構造改善センター	今須1045-1	

0 500 1000 1500 2000 m

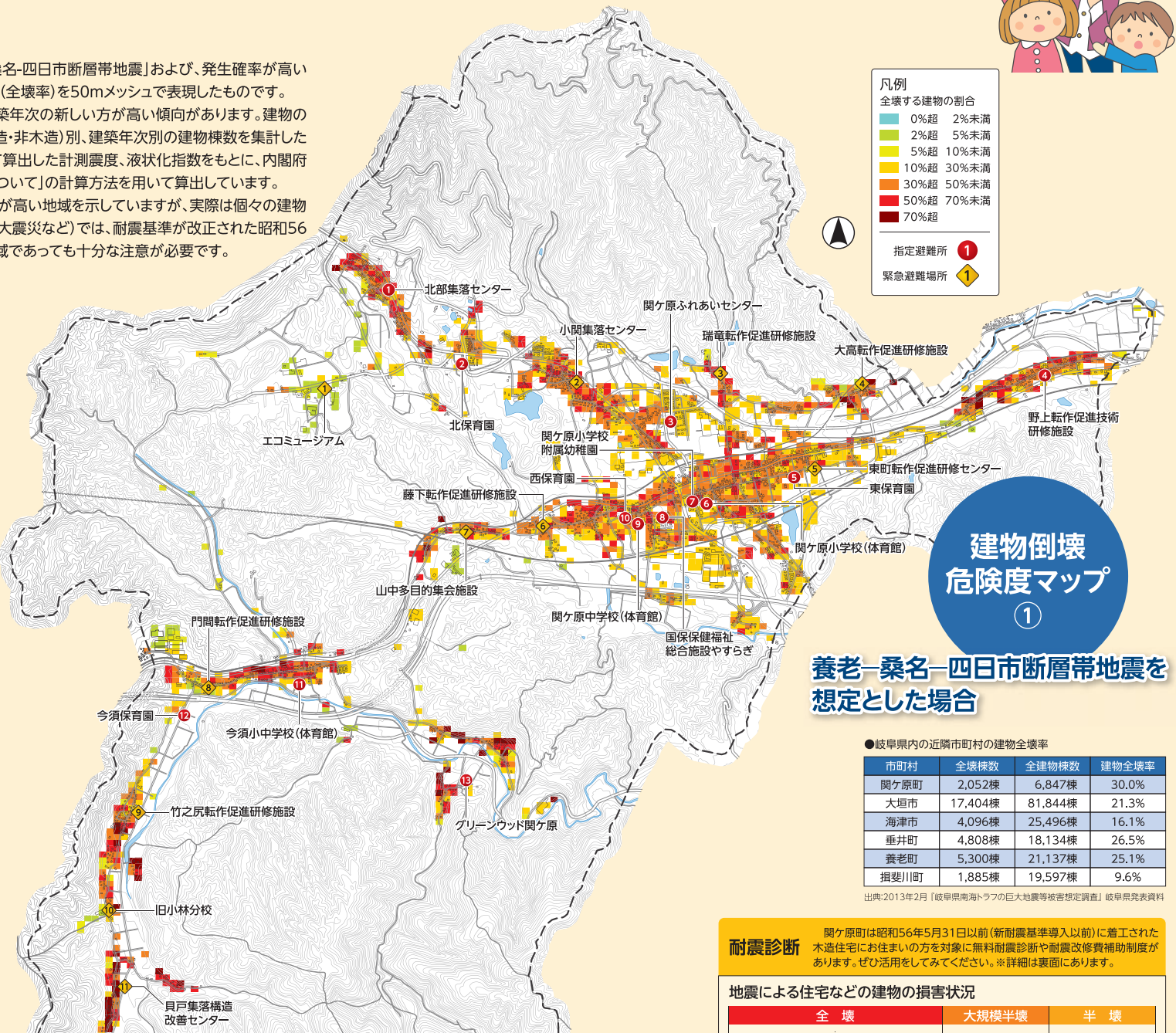
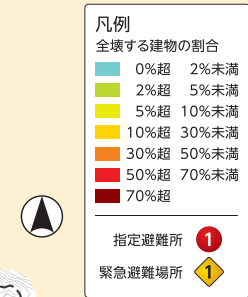
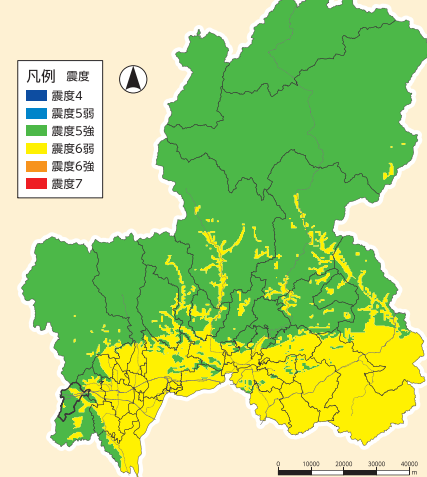
揺れやすさマップ ―岐阜県―

「揺れやすさマップ」とは、地域の地盤の状況から、地震発生したときの揺れの大きさを50mメッシュで表現したものです。なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地盤の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりします。

養老―桑名―四日市断層帯地震を想定した場合



南海トラフ地震を想定した場合



建物倒壊危険度マップ ①

養老―桑名―四日市断層帯地震を想定した場合

●岐阜県内の近隣市町村の建物全壊率

市町村	全壊棟数	全建物棟数	建物全壊率
関ヶ原町	2,052棟	6,847棟	30.0%
大垣市	17,404棟	81,844棟	21.3%
海津市	4,096棟	25,496棟	16.1%
垂井町	4,808棟	18,134棟	26.5%
養老町	5,300棟	21,137棟	25.1%
損斐川町	1,885棟	19,597棟	9.6%

出典:2013年2月「岐阜県南海トラフの巨大地震等被害想定調査」岐阜県発表資料

耐震診断

関ヶ原町は昭和56年5月31日以前(新耐震基準導入以前)に着工された木造住宅にお住まいの方を対象に無料耐震診断や耐震改修費補助制度があります。ぜひ活用してみてください。※詳細は裏面にあります。

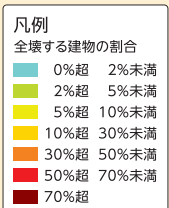
地震による住宅などの建物の損害状況

全壊	大規模半壊	半壊
自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態。損傷が甚しく、補修により再使用することが困難なもの。	柱等の補修を含む大規模な補修を行わなければ居住することが困難なもの。	損傷が基盤的だが、補修すれば元通りに再使用できるもの。

なお、具体的な判定に当たっては、内閣府が定める「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」において基準が定められています。

建物倒壊危険度マップ ②

南海トラフ地震を想定した場合



●岐阜県内の近隣市町村の建物全壊率

市町村	全壊棟数	全建物棟数	建物全壊率
関ヶ原町	226棟	6,847棟	3.3%
大垣市	4,318棟	81,844棟	5.3%
海津市	1,145棟	25,496棟	4.5%
垂井町	349棟	18,134棟	1.9%
養老町	987棟	21,137棟	4.7%
損斐川町	267棟	19,597棟	1.4%

出典:2013年2月「岐阜県南海トラフの巨大地震等被害想定調査」岐阜県発表資料